



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社湖池屋
コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	40,470	23.5	3,072	193.0	2,965	177.5	1,944	179.3
2023年3月期第3四半期	32,772		1,048		1,068		696	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,076百万円 (168.8%) 2023年3月期第3四半期 772百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	364.62	
2023年3月期第3四半期	130.56	

(注) 2022年3月期は決算期変更の経過期間であるため、前第3四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	35,664	16,901	46.8
2023年3月期	29,576	15,194	50.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,704百万円 2023年3月期 15,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		65.00	65.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当90円00銭 記念配当10円00銭
詳細につきましては、本日(2024年2月13日)公表の「配当予想の修正(増配及び記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	18.9	3,400	91.7	3,300	82.6	2,000	71.7	374.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2024年2月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	5,335,000 株	2023年3月期	5,335,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,086 株	2023年3月期	979 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	5,333,971 株	2023年3月期3Q	5,334,094 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、国内においては、前連結会計年度にリニューアルを実施した「コイケヤポテトチップス」をはじめ、各ブランドとも総じて販売が好調であり、売上・利益ともに計画を大きく上回る水準で推移しました。

海外においても、価格改定や販促費コントロール、各種コスト低減が奏功し、利益が改善しました。業績は次のとおりです。

売上高は、40,470百万円（前年同期比23.5%増）となりました。利益につきましては、営業利益3,072百万円（前年同期比193.0%増）、経常利益2,965百万円（前年同期比177.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,944百万円（前年同期比179.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

<国内>

2024年3月期は、「高付加価値商品等の継続拡販」「物価高騰対策及び製造体制の強化」「継続的な新機軸商品開発」を、戦略テーマの3つの軸とし事業展開を進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にブランドの現代化を目的にフルリニューアルを実施した「コイケヤポテトチップス」の販売が好調でした。また、「スコーン」「ドンタコス」「ポリンキー」などのコーンブランドや大袋商品を中心に既存ブランドが好調に推移していることに加え、積極的に広告宣伝投資を行うなどしたことで、計画を大幅に上回る売上となりました。

商品戦略としては、「Largeサイズ」、「ご褒美サイズ」、「いつでもチャック」などの大袋商品ラインナップを拡充することで、年末年始の最大需要期における拡販に努めました。リニューアル後、好調に推移している「ピュアポテト」などの高付加価値商品においても、新商品や集中的な広告宣伝投資などを行い、拡販に努めました。また、コンビニエンスストアにて先行発売した「完全メシ カラムーチョホットチリ味」など、新しいスナック市場の創造へ向けた新機軸商品の開発にも取り組んでおります。

一方、費用面では、原材料価格や光熱費上昇による継続的な影響を受けておりますが、生産・物流の効率化や商品設計の見直しなどコスト削減施策を講じることで利益確保に努めました。

以上のとおり、コスト増加の影響がありながらも販売数量を大きく伸ばし、適正な価格改定を実施した結果、国内の売上高は36,380百万円（前年同期比24.6%増）となり、セグメント利益は2,970百万円（前年同期比122.2%増）となりました。

<海外>

台湾事業では、各種ポテトチップスの価格改定や、ポテトチップス以外の商品群の販売比率を高めることで馬鈴薯原料への依存度低下などの施策を図り、原価率の低減をはじめ収益性向上に努めております。

ベトナム事業では、輸出事業展開の継続とベトナム国内においても積極的な新商品の発売を進め、売上を拡大しております。また、価格改定や各種コスト削減施策も奏功し、利益も大幅に改善しております。

タイ事業では、販路の限られていたスーパーなどへの積極的な商品展開を図りつつ、規格変更や物流費削減を含め、利益改善に努めております。

以上により、海外の売上高は4,090百万円（前年同期比14.3%増）となり、セグメント利益は142百万円（前年同期はセグメント損失222百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ6,087百万円増加し、35,664百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（2,503百万円）、現金及び預金の増加（1,873百万円）及び原材料及び貯蔵品の増加（817百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,380百万円増加し、18,762百万円となりました。主な要因は、未払金の増加（2,275百万円）及び買掛金の増加（2,080百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,707百万円増加し、16,901百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（1,598百万円）によるものであります。なお、自己資本比率は46.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年11月9日に公表した2024年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,510	6,384
受取手形及び売掛金	8,684	11,187
商品及び製品	1,335	1,554
仕掛品	51	33
原材料及び貯蔵品	790	1,607
その他	438	673
貸倒引当金	△1	△7
流動資産合計	15,809	21,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,481	4,445
機械装置及び運搬具（純額）	4,859	4,945
土地	2,193	2,210
その他（純額）	158	523
有形固定資産合計	11,691	12,125
無形固定資産		
その他	275	243
無形固定資産合計	275	243
投資その他の資産		
その他	1,799	1,862
投資その他の資産合計	1,799	1,862
固定資産合計	13,766	14,231
資産合計	29,576	35,664
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,266	6,346
短期借入金	500	500
未払金	1,960	4,236
返金負債	2,374	2,593
未払法人税等	512	676
賞与引当金	347	315
役員賞与引当金	—	56
その他	1,108	1,077
流動負債合計	11,069	15,801
固定負債		
長期借入金	746	428
退職給付に係る負債	1,928	1,939
その他	639	594
固定負債合計	3,313	2,961
負債合計	14,382	18,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269	2,269
資本剰余金	2,153	2,153
利益剰余金	10,603	12,201
自己株式	△3	△3
株主資本合計	15,023	16,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	10
為替換算調整勘定	118	159
退職給付に係る調整累計額	△102	△86
その他の包括利益累計額合計	24	83
非支配株主持分	145	196
純資産合計	15,194	16,901
負債純資産合計	29,576	35,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	32,772	40,470
売上原価	23,237	27,039
売上総利益	9,534	13,431
販売費及び一般管理費	8,485	10,358
営業利益	1,048	3,072
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	9	9
持分法による投資利益	8	2
補助金収入	2	57
その他	23	12
営業外収益合計	44	85
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産除却損	6	62
支払補償費	—	80
その他	11	45
営業外費用合計	23	192
経常利益	1,068	2,965
税金等調整前四半期純利益	1,068	2,965
法人税等	394	955
四半期純利益	674	2,009
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	696	1,944

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	674	2,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	61	36
退職給付に係る調整額	16	15
持分法適用会社に対する持分相当額	20	12
その他の包括利益合計	98	66
四半期包括利益	772	2,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	787	2,004
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	29,193	3,578	32,772	—	32,772
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	29,193	3,578	32,772	—	32,772
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	90	181	△181	—
計	29,284	3,669	32,953	△181	32,772
セグメント利益又は損失(△)	1,336	△222	1,114	△66	1,048

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△66百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	36,380	4,090	40,470	—	40,470
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	36,380	4,090	40,470	—	40,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	70	199	269	△269	—
計	36,451	4,289	40,740	△269	40,470
セグメント利益	2,970	142	3,112	△39	3,072

(注) 1. セグメント利益の調整額△39百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。